

武庫庄



令和 7 年5月15日

あかるく いっでも さきに つづけよう!!

朝、登校する子ども達と挨拶を交わしているのですが、多くの子ども達から素敵な挨拶が返ってきます。「おはようございます」と爽やかに挨拶する子、目を見て立ち止まって挨拶する子等、気持ちの良い挨拶をたくさん子ども達がしています。子ども達との朝の嬉しいひと時です。中でも、自分から先に挨拶ができる子が増えてきたように思います。自分で、意思をもって関係する大人や友だちに挨拶をする習慣が、子どもの頃に身につけば、一生役に立つことでしょう。

挨拶には「心を開いて相手に近づく」という意味があるそうです。そして、挨拶をすることで次のような効果があると言われています。

- 相手との最初のコミュニケーションになる
- 「私は元気です」のように、自分の様子を相手に伝えることができる
- 挨拶をされると「相手の様子」を自分が感じることができる
- お互いに挨拶をすると自分も相手も嬉しくなり、優しい気持ちになる
- お互いに挨拶をすると、仲良しの仲間になることができる
- 「あなたを大切にしている」ということが相手に伝わる

私は、最後の「あなたを大切にしている」ということが伝わるのがとてもいいなあと思います。ちょっと気まずいなと思う時でも挨拶をすることで関係がよくなることもあります。

挨拶は、「相手のことをちゃんと認めています」というサインであり、相手の気持ちを一瞬で明るくさせる「魔法のことば」でもあります。そして何より、よりよい人間関係を築く大切なコミュニケーションの一つです。ただ、子ども達にとって、コミュニケーションの最も基礎的な場となるのは、それぞれのご家庭です。「おはよう・おやすみ」、「いただきます・ごちそうさま」、「行ってきます・ただいま」、「いってらっしゃい・おかえり」等、様々な挨拶の機会があります。学校と家庭とで手を取り合っ、コミュニケーションの力の最も基礎となる挨拶がしっかりとできる子ども達にしていきたいものです。ね。「教育は、家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、社会の教えで実を結ぶ」という言葉があります。子ども達の健やかな成長という共通の目標に向かって、互いに責任を果たしていきましょう。

フラスワン見つけ 5年生の巻

4月から委員会活動が始まった5年生。

学校には、どんな仕事があるのか、みんなのためにどんなことができるのか考えて、率先して動く5年生の子どもたちに成長しています！

5年生になってまだ1か月程しかたっていないのに、すっかり高学年の顔として活動しています!! 顔晴ってます5年生!!

